

Servas Japan Tohoku



支部ニュース No. 95



2023年10月28日

| | | |
|---|---------------|----|
| 1 | 支部長の挨拶 | 1 |
| 2 | 東北支部総会 議事録 | 1 |
| 3 | 東北支部の皆さんの近況報告 | 4 |
| 4 | 受け入れ報告 | |
| | T.S. (岩手県) | 4 |
| | C.O.N (宮城県) | 6 |
| 5 | サーバステイ記 | 10 |
| | 編集後記 | 11 |

TOHOKU

1 東北支部ニュースの発行に寄せて 支部長 T.N.

今回は、6月18日に開催した支部総会をもとに、C会員からご苦勞をかけて、編集していただきました。会員にも一言メッセージを寄せてもらい、それも編集に入れてもらいました。皆さんのサーバス活動への思いもあると思います。支部の変化では、支部総会で、欠員だった副支部長にM会員からなってもらいました。また会員が少なくなり、会計のMさんも体調がすぐれず現在自宅で静養しています。私が、会計のお手伝いをしながら、これからは、年2回くらい支部総会と言わず、集まれるといいなとMさんとお話ししています。今年はおの家へのホームステイに2名(トロント、フランス)があり、11月希望なので、実現すると思います。

2 令和5年度(2023)日本サーバス東北支部総会 議事録

1 会議概要

日時 令和5年6月18日(土) 11:00~12:00

会場 仙台キッチン(仙台駅ビル内)

出席者 T 支部長、M 夫妻、T.M さん、T.S さん

※5 名から委任状の提出

2 議事

(1)2022 年度会計・支部活動報告

・会員 12 名（異動なし）、新入会員 0 名、退会会員 0 名、休会会員 1 名（O さん）、
認定トラベラー 0 名

・会報発行なし

・支部総会中止（コロナによる）

(2)2022 年度事業及び決算報告について

・2021,2022 年度の支部総会未開催により、繰越金が 147979 円

・会費納入 21000 円（7 名分のみ）

－休会中の会員からは会費を徴収しない。

－支部総会の未開催により、そのタイミングでの会費徴収ができず未納（39000 円）がたま
った。

・支出は支部拠出金 10320 円（860 円バツ 12 人）、事務費 1000 円

(3)2023 年度事業と予算について

・2019 年以降 3 年間で未納分 39000 円（延べ 13 人分）については、退会届または支部
移動届を提出して区切りをつける。

(4)支部ニュースの発行について

・今回の支部総会の内容を中心に、C さんにまとめてもらう。

(5)新入会員について

・岩手に入会希望の方が 1 名

(6)役員任期の確認と改選について

・支部長については、2019 年に再任されて以来、2 年の任期が終了。副支部長不在の状態。

・新たに、支部長—T さんで再選、副支部長—M さん、会計—M さんをお願いし、本部へ
の登録をする。

3 意見交換

(1) サーバスの活動を振り返って（M さん）

50 年間で 650 人の受け入れをした。トラベラーを受け入れて、他国との文化の違いや考え
方に触れることが新鮮で楽しい。近年はトラベラーが減って残念だ。第 1 回目の受け入れ
トラベラーの写真を見せてくれた（以下に実際の写真を載せました）。韓国支部が盛り上
がった時、東北支部 12 名で 20 名の受け入れ、もてなしをした。他国文化をしらないと難
しいこともたくさんあったが非常に懐かしい。

(2) その他、NPO、若い方の会員募集について

・東北へのトラベラーは変わらず少ないうえ、以前に比べどなたも忙しい。近畿、九州支部は会員数も多く、非常に盛り上がっている。自宅が観光地に近いなどの立地条件が大きいかかわるか。



東北支部総会でそろった会員の皆さん



Mファミリーが最初の受け入れをしたハンガリーのご夫婦との貴重な写真

3 東北支部の皆さんの近況報告

T.Mさん

会員の皆様、いかがお過ごしですか。私は元気しております。コロナ禍の最中に、外国人2人の方からホームステイの依頼がありました。そのうちの一人の方は、“今は入国も制限されているし、日本も発生が多くなっているので引き受けられません”と断ったのですが、2か月間隔ぐらいで3度も、『やはり日本に行きたいがどうだ?』というメールが届きました。毎回、丁重にお断りしたら4回目のメールは来なくなりました。しかし、入国も解禁、コロナも5類になり、“そろそろメールが来るかな”と思う今日この頃ですが、“あの方”を含め最近は全く依頼がなく、チョット寂しい感じです。私は地元でグリーン・ツーリズムにも参加しているのですが、3年間の空白のためか、会員が歳をとったためか(私も含めて)、現在は会としてのホームステイを見合わせている状況です。何事も一度途切れると復活が難しいと感じる歳です。でもまだまだ人生楽しまねば。

T.Yさん

今年は喘息で苦しみました。支部総会も欠席でしたが、ここにきて回復してきました。また会いましょう。

T.Nさん

只今終活中です。

C.O.N

マレーシア人と企画し、日本人が作成した映画が完成しました。上映会をマレーシアと福島で実施できたことが今年のハイライトです。

<https://readyfor.jp/projects/tkc/announcements/287165>

4 受け入れ報告

報告者 T.S

L. L(Holland) 2022/12/3

10年越しの再訪でした。オランダの旅行会社の方で、東北の魅力を発信しながら、日本の紹介をしてくれています。今回はコロナ明けの日本ということで、キャッシュレス決済の浸透など、さらに進化した日本社会の驚きつつ、東北の変わらない日本の良さにも感動しておりました。



L. M(USA) 2023/3/23-31

20年夢見た念願の日本旅行、一緒に1週間アテンドしました。



江刺藤原の里 トリックアート



自宅にて



狛鼻溪川下り



和菓子づくり体験

着付け体験



和食クッキングクラスーへっちょこ団子、あずきはっと、太巻き寿司・・・



岩手手作り村にて 藍染体験



絶景！ 岩手山



マンション仲間と食事会

報告者 C.O.N

7月25日～7月28日 フィンランド人 Aさん

7月27日～7月30日 スイス人 Cさん

7月25日

この日はとても特別な日になりました。私がサーバスを始めたきっかけは、2010年8月にヨーロッパ旅行をするためでした。そのたびの一番の目的は当時入学したかったフィンランドの大学の下見をするため。そのときにホームステイさせていたフィンランドのご家族

の娘さん（当時あったときはまだ小学生）が、なんと今年日本の大学で交換留学をすることになったと連絡がありました。彼女が帰国する前には是非東北旅行に来てほしいと誘って今回の再会が実現しました！あの頃と同じアートが大好きな A。私の子どもたちと消防フェスタに遊びに行ったり、松島観光をしたりしました。夕飯はフィンランド料理をリクエストし、とてもおいしいスープの作り方を教わりました。



当時の A



当時 A に描いてもらったイラスト

7月26日・27日

翌日は福島県福島市に行き、ペイ・フォワードの福島県バージョン「お互いさまチケット」を取り入れているカフェの見学に行きました。さらに、その「お互いさまチケット」の拡充に取り組んでいらっしゃる NPO 法人チームふくしまさん (<https://www.sunflower-fukushima.com/index.html>) の活動の一つである「ぼくのひまわりおじさん」という絵本動画のフィンランド語訳に協力してもらいました。これがその動画です。

(<https://www.youtube.com/watch?v=vPEdqCn5px8>) この様子を新聞に取り上げてもらいました。



お互いさまスポット みんなの食料庫見学

7月27日

この日は福島県郡山市まで移動して、お互いさまチケットを始めたピザ屋さんの見学へ。彼女が食べたりチケットを使って注文したりしている様子が地元のテレビで紹介されました。その後福島の友人に宮城県まで送ってもらいながら、次のサーバスゲストのスイス人 C さんを迎えに行きました。A と C は年齢が近いこともありすぐともだちになっていました。カラオケが好きということで、福島の友人親子、我が家とともに盛り上がりました。この日はスイス料理をリクエスト。スイス流チーズたっぷりのクリームパスタを作ってもらい、子どもたちも大満足でした。



テレビ取材も



日本語で歌う C

7月28日

A と C はアートが好きということで午前中は東北歴史博物館へ。午後は七ヶ浜町のビーチで遊びました。日本にいる間にビーチに行けたのは思い出になったのではないかなと思います。一緒に行った私の子どもたちや福島の友人の子どもたちもはしゃいでいて、小さい頃から外国人とふれあう機会がたくさんあることに感謝でいっぱいになりました。この日の夕方 A は関西へと帰って行きました。



塩竈市にある杉村惇美術館内の大講堂にて

7月29日

Cと私の地元山形へ。午前中は私の家族がリンゴの摘果のお手伝いがあったので、その間Cと私の母は寒河江市に観光に行きました。お寺をみたり、アイスを食べたりして満喫したようです。

Cはスイスで日本語学科に所属し、日本の大学での交換留学の経験があることから、私の母とも日本語でコミュニケーションをしていました。私の両親や祖父母も、私が外国人の友人を連れてくるたびにおもてなししてくれるので、外国人とのコミュニケーションに長けているように思います。相手が日本語を話せないとしても交流を楽しもうとする姿勢は大切ですね。経験の積み重ねなのでしょう。

午後は山形蔵王の有名な露天風呂に入り、彼女も私たちも夢心地〜。夕飯は私の父による山形料理でおもてなしでした。

7月30日

Cがアート好きということで、午前中は山形の滞在の思い出を描いてもらいました。畑でとった巨大な夕顔、縁側でした花火、一緒に入った露天風呂など、楽しい雰囲気の絵を私のゲストブックと母のスケッチブックに描いてもらいました。



家族と庭で記念撮影

8月28日～9月1日 スウェーデン人Bさん、Sさん

このお二人は、アフリカ最後の植民地西サハラの啓蒙活動のために世界を自転車で横断している人権活動家さんたちです。せっかく日頃耳にしない国のために活動されているので、お二人の講演会を2回聞きに行きました。

このような活動をするきっかけは、西サハラにいったことがあり、そこで友人ができたからだそうです。その人に「自分には何ができるだろう？」と聞いたところ、西サハラの様子を世界に発信してほしいとお願いされたということです。彼らに出会うまでは全く知らなかった西サハラの事情や人権ということについて深く考える貴重な体験になりました。

人権活動の合間に見せる、Bさんのドラム演奏、Sさんの子どもたちと遊ぶ姿に癒やされました。定番の松島観光もしました。塩竈市にあるマリンプラザから船に乗り、浦戸諸島でピクニックや海遊びをしたときはとてもリラックスしました。



5 サーバステイ記

報告者 C.O.N

8月18日 京都府 H.Tさん宅へのステイ

以前サーバス国内会員さんに泊めていただいたのは2010年のこと。しばらくぶりに国内でホームステイをさせていただく機会を得ました。ホストは京都府で国内サーバスの会長もされていたHさんです。東福寺の目の前のすてきな場所にお住まいでした。お盆を過ぎてもまだまだ京都は真夏日続きで移動には疲れましたが、Hさんご夫婦は私の娘息子を喜ばせるためにポップコーンを用意してくださったり、布やビーズを使ったブローチ作りをしてくださったりしました。一泊の間に、Hさんの若かりし頃の冒険の話や、様々なサーバス会員とのやりとりの話などを聞くことができ私もわくわくしました。翌朝は旦那様に東福寺を案内してもらい、東福寺駅で名残惜しくもお別れしました。



8月20日 大阪府ドーンセンターにて京都府在住 A.K さんご夫婦との交流

京都・大阪に滞在した目的は、音楽療法 NPO ムジカトゥッティさんの企画した、アフリカンドラムイベントに参加するためでした。いつもムジカトゥッティさんたちは私の住む宮城県やお隣の福島県で東日本大震災後心のケアということで演奏活動をしてきています。そこで、いつもイベント企画を支援させていただいています。

H さんのご紹介で、京都府から A さんご夫婦がこのイベントに遊びに来てくださいました。兵庫県三宮でムジカトゥッティさんがコンサートをしたときにファンになったという大阪のピアノの先生方、いつもムジカトゥッティさんの活動を応援している愛媛県四国中央市と千葉県市川市のピアノの先生も集結し会場設営のお手伝い。大阪近辺の方たちに、自分らしい表現方法ができるアフリカンドラムを楽しんでもらえました。

コンサートの後はセミナーの時間。わきにはさんで、締め具合を変化させることで音が変わるトーキングドラムのならし方を学びました。それを使って言葉によらないコミュニケーションを体験することで、アフリカンドラムの奥深さを感じました。会場にいらした方たちが徐々に心を開いて交流する様子を感じ取れました。

今回は、サーバスの方のお宅に泊めていただいたり、私が応援している団体さんのイベントに参加していただいたりして、心の交流が深まったと感じました。ありがとうございました。



編集後記

2020年以降世界的なパンデミックが広がり、なかなかサーバストラベラーからの連絡がないさみしい時期が続きました。しかしこの5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、世界的に人々の動きが活発になってきました。今年はサーバスではありませんが、マレーシア人やカナダ人の友人が我が家に泊まりに来てくれたり、家族でマレーシア旅行に行けたりしてとても充実していました。

皆様からの受け入れ報告、旅行記も随時お待ちしております。